

2014 年度 入学試験問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I つぎの文章 (A～C) は、トルコ系の諸国や王朝の歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

A 6世紀の中ごろ、アルタイ山脈地方を本拠地としていたトルコ系の突厥が勢力を伸ばし、モンゴル系の柔然を滅ぼすと、柔然の君主が用いていた (1) という称号を遊牧民の君主の称号として用いるようになった。モンゴル高原で勢力を拡大した突厥は、西方ではササン朝ペルシアと結んで遊牧民 (2) を滅ぼして中央アジアへ勢力を伸ばすことで、モンゴル高原から中央アジアにまたがる大遊牧国家となった。突厥は古くから東西貿易に活躍していたソグド人を活用した。しかし、6世紀後半に突厥は内紛^(a)によって東突厥と西突厥に分裂した。東突厥は、分裂後に成立した唐に破れるとこれに服属し、西突厥は7世紀末に滅亡した。東突厥は7世紀に再興し、勢いを取り戻したが、744年に同じトルコ系のウイグルに滅ぼされた。

8世紀半ばに唐を揺るがした内乱^(b)に際し、その鎮圧を助けたウイグルは強盛を誇った。しかし、8世紀末には内紛が激しくなり、弱体化したウイグルは840年に同じトルコ系の (3) によって滅ぼされた。ウイグル人の国家が崩壊すると、住民は各地に四散した。南下して唐の領域内に居住した人々もいたが、西方に向かい天山山脈周辺に至った人々もいた。こうした人々の移動は、それ以前に天山山脈周辺に移住していたトルコ系住民を圧迫し、さらに西方への移動を促す圧力となった。

トルコ系の人々の西方移動によって、中央アジアのオアシス地帯に住む人々はトルコ語を身につけるようになった。こうしてトルコ化が進んだ中央アジアの地域は、ペルシア語で「トルコ人の土地」を意味する (4) とも呼ばれるようになった。

B ウイグル国家の崩壊後、トルコ系の人々は (5) と呼ばれる軍人奴隷として各地のイスラーム王朝で軍事力の中心として用いられるようになった。

その一方で、10世紀には各地で独自の王朝も形成している。962年にアフガニスタンにトルコ系イスラーム王朝のガズナ朝が成立した。中央アジアを支配した最初のトルコ系イスラーム王朝とされる (6) 朝は、10世紀末にサーマーン朝を滅ぼした。11世紀には中央アジアからセルジューク朝^(c)がおこる。1055年、バグ

ダードに入城してイラン系の軍事政権ブワイフ朝の勢力を駆逐したセルジューク朝の建国者（ 7 ）は、アッパース朝のカリフからスルタンの称号を与えられた。

12世紀半ばをすぎると、セルジューク朝は各地の地方政権に分裂し始める。セルジューク朝のホラズム総督が自立して作ったホラズム朝は一時強盛を誇ったが、13世紀のモンゴルの進出^(d)によって滅びた。アナトリア（小アジア）にはセルジューク族の分派がルーム=セルジューク朝を建国していたが、やはりモンゴルの進出により衰えた。その後、アナトリア（小アジア）にトルコ系小国家が林立し、その中から後に一大帝国に発展するオスマン朝^(e)が成立したのである。

C 第一次世界大戦に同盟国側で参戦して敗北したオスマン帝国は、戦後の（ 8 ）条約により領土は分割され、多くの地域が戦勝国の委任統治領となったり、割譲されたりした。しかし、アンカラを本拠地とするムスタファ=ケマルらの勢力がこの条約を拒否し、また小アジアのイズミルに拠点を得て勢力拡大をはかった（ 9 ）との戦争に勝利した。ケマルは1922年にスルタン制を廃止し、これによってオスマン帝国は名実ともに滅亡することとなった。さらにケマルは、1923年に列強とローザンヌ条約を結んで、領土の回復、不平等条約の撤廃に成功した。この年、ケマルはトルコ共和国の建国を宣言し、みずから初代大統領となる。その後、ケマルはカリフ制を廃止するなど、トルコの脱イスラーム化を進めるとともに、近代化に向けた一連の改革^(f)を推進した。彼はそれらの功績により、1934年に「父なるトルコ人」を意味する（ 10 ）の称号を与えられた。

設問1 空欄（1～10）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問 2 下線部(a)について。古くから中国の王朝と北方の遊牧国家との間で行われてきた貿易は、突厥やウイグルが強盛を誇った時代にも唐を相手として盛んに行われており、ソグド商人はこの貿易の担い手として活躍した。この貿易の名称としてもっとも適切なものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 三角貿易 ② 勘合貿易 ③ 香辛料貿易
④ 絹馬貿易 ⑤ 東方貿易

設問 3 下線部(b)について。ソグド系の出身で節度使をつとめていたものの、8世紀に唐を揺るがしたこの内乱の中心となった人物とその人物の部下でやはりこの内乱の中心となった人物の名前をそれぞれ答えなさい。

設問 4 下線部(c)について。セルジューク朝が勢力を伸長し、西側の隣国を圧迫したことがヨーロッパのキリスト教国による十字軍の原因となったとされる。この隣国の名称を答えなさい。

設問 5 下線部(d)について。13世紀に成立した広大なモンゴル帝国は、13世紀後半にはフビライが治める元とともに、各地の諸ハン国がときに争いながらも緩やかに連合する体制をとるに至った。これらハン国のうち、ホラズムが治めていたイラン、ルーム=セルジューク朝が治めていたアナトリア（小アジア）地方を含む広大な地域を治めたハン国はどの国か。その名称を答えなさい。

設問 6 下線部(e)について。オスマン朝時代にフランスやイギリス、オランダに恩恵的特権として与えられたものの、オスマン朝の衰退とともに西欧諸国に有利なものとして解釈・利用された特権は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問7 下線部(f)について。この一連の改革で行われた事柄のうち、誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 一夫多妻制が廃止され、一夫一婦制が導入された。
- ② アラビア文字に代わって独自のトルコ文字が採用された。
- ③ 神秘主義教団の活動が禁止された。
- ④ トルコ帽やヴェールの着用が禁止された。
- ⑤ 太陽暦が採用された。

II つぎの文章（A-D）は、諸国家の連合および国際機構の発展について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（34点）

A いくつかの都市または国家が一定の目的で同盟を結ぶことは、古くからおこなわれてきた。古代ギリシアでは、神殿の維持や祭典の挙行のために隣保同盟が結ばれたし、スパルタを盟主とした（ 1 ）同盟のような軍事同盟もよく知られている。中世ヨーロッパの自治都市も共通の利害のために都市同盟を結成した。これらの同盟も平和の維持とまったく無関係ではなかったが、^(a)国際機構の設立によって恒久的な平和を実現しようという思想は、フィリップ4世の法律顧問であったピエール＝デュボアが1306年に著した『聖地奪回論』にその萌芽があるとされる。1713年には、ユトレヒト平和会議に参加したサン＝ピエールが『永久平和論』を著したし、^(c)ドイツの哲学者（ 2 ）もバーゼルの和約を契機として1795年に『永遠平和のために』を著し、国家が連合することによって、永遠平和が達成されると述べていた。しかし、こうした理想が国際機構の設立として実現されるまでの道のりは決して平坦ではなかった。

B ナポレオン戦争後のヨーロッパの国際秩序であるウィーン体制は、大国間の勢力均衡を基調とするものであった。1815年9月には（ 3 ）の呼びかけで神聖同盟が結成され、また、同年11月には四国同盟が結成された。1818年11月のアーヘン会議では、この四国同盟に（ 4 ）が加わり五国同盟が成立した。「ヨーロッパの協調」ともよばれるこのウィーン体制においては、とくに常設機関が設置されたわけではなかったが、1832年のロンドン会議までは数年ごとに国際外交会議が招集されており、ヨーロッパにおける国際機構の先駆けであったと評価することができる。しかし、ウィーン体制が維持しようとした秩序は旧態依然の秩序であり、ラテンアメリカにおける独立運動や各国の革命運動により、この体制は内部から崩れていった。^(d)勢力均衡による平和維持という観点においても、1853年の（ 5 ）戦争によって、この体制は完全に崩壊した。そして、三国協商と三国同盟が対峙する「武装した平和」とよばれる緊迫した状況をへて、ヨーロッパは未曾有の世界大戦へと向かったのである。

C 1919年、第一次世界大戦の戦勝国を中心にパリ講和会議がひらかれた。この講和会議は、アメリカ合衆国大統領（6）が前年1月に発表した十四か条の平和原則をその基礎とした。これは秘密外交の禁止、海洋の自由、関税障壁の撤廃、軍備縮小、植民地問題の公正な解決、民族自決、国際平和機構の設立などからなるものであった。戦勝国が自国の利益に固執するなどしたため、これらすべての原則がヴェルサイユ体制において実現されたわけではなかったが、史上初の本格的平和維持機構である国際連盟の設立は、世界の恒久平和にとって大きな一歩であるとみなされた。しかし、戦後において一時国際協調の気運がたかまったものの、もともと加盟国にかたよりがみられ基盤が脆弱であったことや、国際連盟が侵略行為にたいして実効的な制裁手段をもたなかったことから、十分な平和維持機能を果たすことはできなかった。1933年には日本とドイツが相次いで国際連盟を脱退し、1937年にはイタリアが国際連盟による経済制裁にもかかわらず（7）を併合した後に、連盟を脱退している。世界はいまひとたび凄惨な総力戦を経験することになる。

D 独ソ開戦後の1941年8月、ときのアメリカ合衆国大統領とイギリス首相は、領土不拡大、民族自決、貿易の自由、労働条件と社会保障の改善、海洋の自由、軍備縮小、国際平和機構の再建などの8か条からなる大西洋憲章を発表した。ソ連もただちに支持を表明し、翌年にはこれをもとに26か国の代表による連合共同宣言（Joint Declaration by the United Nations）が発表され、ファシズム打倒のための協力が約束された。1943年にはモスクワで新しい国際平和機構の設置が確認され、翌年の（8）会議において国連憲章の原案が起草された。日本との戦争がつづくなか、1945年6月、サンフランシスコ会議で国連憲章が採択され、同年10月に51か国を加盟国として、国際連合（United Nations）が誕生した。その名称は第二次世界大戦における「連合軍」の名称を引き継ぐものであった。

国際連合の中心的な機関は、全加盟国が平等の投票権をもつ総会と5つの常任理事国が拒否権をもつ安全保障理事会であった。国際連盟の教訓から、安全保障理事会には、非軍事的措置だけでなく、軍事的措置を発動する強い権限があたえられたが、東西冷戦以来、拒否権の行使あるいは拒否権行使の予告によって国際連合が機能不全におちいることもすくなくなかった。新しい国際機構の設立がただちに恒久

的な平和を意味したわけではなかったのである。

設問 1 空欄 (1～8) に入るもっとも適切な語句を答えなさい。なお、(2)
(3) (6) には人名が入る。

設問 2 下線部(a)について。12世紀、北イタリアの都市によって結成されたロン
バルディア同盟は、神聖ローマ皇帝の南下政策に対抗するものであった。そ
の皇帝の名前を答えなさい。

設問 3 下線部(b)について。フランス国王フィリップ 4 世の事績に関するつぎの記
述 (あ～う) は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれ
ば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ。イギリス国王ジョンと争い、フランス国内のイギリス領の大半を奪った。
- い。教皇ボニファティウス 8 世と対立し、教皇をバビロンに捕囚した。
- う。聖職者・貴族・平民の 3 身分代表からなる三部会を召集した。

設問 4 下線部(c)について。この平和会議で結ばれたユトレヒト条約に関するつぎ
の記述 (あ～う) は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤って
いれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ。イギリスは、ニューファンドランドをフランスから獲得した。
- い。イギリスは、ジブラルタルをフランスから獲得した。
- う。オーストリアは、ネーデルラントをスペインから獲得した。

設問 5 下線部(d)について。1848 年におきた革命に関するつぎの記述 (あ～う)
は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マー
ク解答用紙にマークしなさい。

- あ。パリで二月革命がおこり、シャルル 10 世が亡命した。
- い。ウィーンで三月革命がおこり、タレーランが失脚した。
- う。ベルリンで三月革命がおこり、自由主義者の内閣が誕生した。

設問 6 下線部(e)について。1915年、イギリスの駐エジプト高等弁務官マクマホンが、アラブ民族運動の指導者であったフセイン（フサイン）にたいして、アラブ人が戦争に協力することを条件として約束したことは何か。その内容を20字以内で記述しなさい。

設問 7 下線部(f)について。国際連盟に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しいければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。アメリカは、上院がヴェルサイユ条約批准を拒否したため、参加しなかった。

い。発足当初、日本はドイツとともに常任理事国であった。

う。国際労働機関（ILO）と常設国際司法裁判所が付置された。

設問 8 下線部(g)について。1945年にひらかれ、秘密協定においてドイツ降伏後のソ連の対日参戦が決定された会談はどこでおこなわれたか。その地名を答えなさい。

設問 9 下線部(h)について。東西冷戦と国際連合に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しいければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。ソ連は、朝鮮戦争にたいする国連軍の投入について拒否権を行使した。

い。日本は、日ソ共同宣言でソ連と国交を回復した後、国際連合に加盟した。

う。韓国は、民主化宣言の後、北朝鮮よりも早く国際連合に加盟した。

Ⅲ つぎの文章（A～D）は、中華人民共和国の歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（32点）

A 中華人民共和国（以下「中国」という）は、南方で国共内戦がまだ続く1949年10月という時期にいち早く建国された。当時その直前の9月に（ 1 ）会議が北平（のちの北京）で開催され、人民民主主義に近いとされる新民主主義^(a)が当時革命理論として採用された。

その後まもなく、1950年6月に朝鮮戦争が勃発したが、同年10月に中国は人民義勇軍という形で、朝鮮民主主義人民共和国（以下「北朝鮮」という）側に実質的に加勢し、アメリカをはじめとする西側諸国との敵対関係を一段と深めていった。

そして国民経済の復興期を経て、向ソ一辺倒を徐々に強めていった。また、1953年から始まる（ 2 ）のもとで、当時のソ連からの経済援助も受けて、重工業化が初歩的に進められた。さらに、つぎの社会主義への過渡（移行）期の憲法である1954年憲法が同年9月に制定された。そのもとで工業や農業などの分野で国有化や集団化をめざす社会主義改造が急テンポで実施されていった。ついに1956年末ごろに中国社会は、基本的に社会主義社会となったとされた。

B さらにその後、1957年の反右派闘争をへた1958年から「大躍進」運動が積極的に展開され、（ 3 ）が農村を中心に全国的に設立された。

しかしながらその過激な運動は同時に深刻な経済的な挫折をもたらした。1959年には（ 4 ）が毛沢東に代わって、中華人民共和国主席（国家主席）^(b)の地位についたが、1961年から上記の運動を緩和する（経済）調整政策が実施された。また対外的には、1956年のスターリン批判を内容とする報告に対する中国側の受け取り方^(c)などから中国がソ連を修正主義とみなすなどの中ソ論争（中ソ対立）もしいに激化していった。

C 国内的には後に、上記の調整政策にみられた一連の自由化政策を主導した者たちが資本主義の復活をはかる実権派とみなされ、1966年にはついに、毛沢東によって10年にわたるとされるプロレタリア文化大革命^(d)が発動され、全国は大混乱に陥

り、軍事管制が一時期しかれた。

そうしたさなかの1971年に、毛沢東の暗殺を謀り、失敗して逃亡をはかったとされる林彪^(e)らが事故死した。また対外的には、1972年9月に、当時の日本の首相であった(5)らが訪申し、日中国交正常化が実現した。その後1978年には、日中平和友好条約が締結された。
(f)

D 一方で国内的には、1979年以降に展開される(6)政策や「4つの現代化」路線により、都市部では、1984年の10月から経済システムの改革が始まった。他方農村ですでに導入されていた農業の生産請負制などの普及にともない、上記の「大躍進」運動期に生まれた(3)は1985年ごろまでに基本的に解体された。

また1987年に開催された中国共産党の第13回全国代表大会を受けて、政治システムの改革がめざされたが、1989年に勃発した第2次天安門事件^(g)では、戒厳令下において人民解放軍が北京へ出動し、最終的に天安門広場を制圧した。

その後、1992年から社会主義市場経済が本格的に実施された。そして1997年には、イギリスから(7)が中国に返還され、一国二制度という体制が整えられた。さらに1999年には、(8)からマカオ^(h)が中国に返還された。

設問1 空欄(1~8)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。新民主主義に関する記述として正しいものはどれか。

1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 蒋介石が一党独裁をめざして1940年に提唱した革命理論である。
- ② 第二次世界大戦直後の西ヨーロッパに成立した資本主義国の革命理論である。
- ③ 本格的な社会主義をめざすのは将来のこととし、中国共産党が他の民主主義勢力と協力するとされた革命理論である。

設問3 下線部(b)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。毛沢東が建国の1949年から人民政府主席に、そして1954年から国家主席に就任した。

い。毛沢東は国家主席と同時に共産党の主席も退いた。

う。建国以来今日にいたるまで国家主席制度は存続してきた。

設問4 下線部(c)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。すでにスターリンが死去したあとになされた報告である。

い。ブレジネフがおこなった報告である。

う。スターリンの個人崇拜や大量粛清を批判した報告である。

設問5 下線部(d)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。紅衛兵組織が動員され、毛沢東派を支持した。

い。江青をはじめとするグループが文化大革命の初期に批判された。

う。プロレタリア文化大革命は10年の長きにわたった。

設問6 下線部(e)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。一時期、毛沢東の後継者とされた。

い。軍人として抗日戦争などで活躍した。

う。飛行機でアメリカに逃亡をはかった。

設問7 下線部(f)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 日中両国の友好と不戦が誓われた。
- い. この条約の締結ののち、日本は台湾との断交に踏みきった。
- う. その調印後も国連代表権は台湾国民政府がにぎっていた。

設問8 下線部(g)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 多くの農民が天安門広場にあつまり、中国共産党や政府に対して農産物の完全な自由化に反対した事件である。
- い. 労働者や地方からの学生などの参加があった。
- う. 鄧小平は当時すでに死去していた。

設問9 下線部(h)に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②をマーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. マカオに特別行政区が設置された。
- い. マカオには16世紀以降、対中国貿易の拠点が置かれた。
- う. マカオでは、資本主義体制の維持がその後99年間保障された。